

## 第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

### B.情報・交通

【HP 掲載No. B01】

発表No.	B01
タイトル	イネーブリングシティ・ウォークによる街の主観データ収集と分析 ～ウェルビーイング向上に寄与するまちづくり基盤と計画ツールの開発～
所属・名前	大成建設株式会社 佐藤 大樹 大成建設株式会社 出口 亮 株式会社山手総合計画研究所 片岡 公一 大成建設株式会社 渡辺 広道 株式会社山手総合計画研究所 片岡 公一 社会医療法人愛仁会 千船病院 村田 尚寛 横浜市立大学 大森 文彦 横浜市立大学 秋元 康幸 横浜市立大学 鈴木 伸治 横浜市立大学 西井 正造 横浜市立大学 武部 貴則
キーワード	① ウェルビーイング ② イネーブリング・ファクター ③ イネーブリングシティ・ウォーク
<p>2021年より17回にわたり、横浜市中区関内エリアをはじめ6地域で、市民、自治体関係者、民間企業職員、大学の研究者や学生等共に、ウェルビーイング向上に寄与する街中の要素を探索する調査活動（イネーブリングシティ・ウォーク：ECW）を行ってきた。</p> <p>ECWでは、実際に街を歩きながら、参加者一人一人がスマホから街の要素に対する主観を投稿する。この活動は、デジタルを活用した新しい協働型の街づくりであると共に、今後、ウォークアブルな街やグリーン社会の形成に寄与するものと考えられる。</p> <p>データの蓄積が進み、多くの人が共通して抱く街の要素に対する感情や、数は少ないがユニークな意見まで、多種多様な主観データから得られ始めている。そこで本論文では、データの分析とECWの今後のまちづくりへの応用可能性、そしてECWと言う活動自体が持つ街づくりツールとしての価値について考察する。</p>	